

安全にご利用いただくために

NEC Expressサーバ
Express5800シリーズ
Express5800/R110m-1

第1章 使用上のご注意

第2章 技術的な法規制

➤ 本機を取り扱う前に本書をよくお読みください。本書は大切に保管してください。

目次

第1章	使用上のご注意	1
1.1	安全にかかわる表示について	1
1.2	本書と警告ラベルで使用する記号とその内容	2
1.3	安全上のご注意	3
1.4	警告ラベル	9
1.5	製品の譲渡と廃棄	9
1.6	航空・海上輸送に関する注意	9
1.7	取り扱い上のご注意	10
1.8	静電気対策	11
1.9	本機の設置について	12
第2章	技術的な法規制	14

第1章

使用上のご注意

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。本書に記載の内容を守らずに製品を使用した場合、誤動作だけでなく、けがや発煙、火災等、意図しない安全上の問題が発生する原因になります。本製品をご使用になる前に、必ず本書をお読みください。

また、本文中の名称についてはユーザズガイドの「各部の名称と機能」の項を参照してください。

1.1 安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、ユーザズガイドの指示に従って操作してください。

ユーザズガイドは、本機のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明しています。また、本機で危険が想定される個所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています(印刷されている場合もあります)。

ユーザズガイド、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義しています。

 警告	人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
 注意	火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義しています。

	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。 記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。 記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を 図案化したものです。	(例)  (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。 記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を 図案化したものです。 危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (電源プラグを抜け)

1.2 本書と警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれのあることを示します。		指がはさまれてけがをするおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	爆発または破裂のおそれがあることを示します。		レーザー光による失明のおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	複数の受電があることを示します。		

行為の禁止

	本機を分解・修理・改造しないでください。 感電や火災のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。 感電するおそれがあります。
	指定された場所以外には触らないでください。 感電や火傷などの傷害のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。 水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。 発火するおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制

	本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。
	必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。
	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。

1.3 安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号については、「安全にかかわる表示について」を参照してください。

全般的な注意事項

 警告	
	人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない 本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込み、およびこれらの機器の制御などを意図していません。 これら設備、機器、または制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いません。
	煙や異臭、異音が生じたまま使用しない 万一、煙、異臭、異音などが生じたときは、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。 その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。 そのまま使用すると火災の原因となります。
	針金や金属片を差し込まない 通気口や光ディスクドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。 感電の危険があります。
	規格以外のラックで使用しない 本機はEIA規格に適合した19型(インチ)ラックに取り付けて使用できます。 EIA規格に適合していないラックに取り付けて使用しないでください。 本機が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。 本機で使用するラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。
	指定以外の場所で使用しない 本機を取り付けるラックを設置環境に適していない場所には設置しないでください。 本機やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをされるおそれがあります。 設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付の説明書を読むか、保守サービス会社にお問い合わせください。

 注意	
	日本国外で使用しない 本製品は、日本国内用として製造・販売しています。 日本国外では使用できません。 本製品を日本国外で使用すると火災や感電の原因となります。
	本機内に水や異物を入れない 本機内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。 火災や感電、故障の原因となります。 それらが内部に入ったときは、ただちに電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いた後、分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

ラックの設置・取り扱いに関する注意事項

 注意	
	環境温度 ラックに装置を搭載した際、装置からの発熱などによってラック内部の温度が室温より高くなることが考えられます。そのため、装置を設置する際には、メーカーが指定する動作保証温度を考慮し、それに適応した設置を行ってください。
	エアフロー 本製品が十分冷却できるよう、ラックのエアフローを確保してください。
	ラックへの搭載 ラックへ機器を搭載するときは、重さが均一となるようにしてください。 左右または上下に偏りがあると危険です。
	過電流保護 電源の過負荷対策のため、過電流保護装置(ブレーカー)への接続を考慮してください。 この問題を解決するため、機器の銘板には装置の定格が記載されています。
	マウントされた機器の設置 ラックにマウントされた機器は確実に接地してください。
 	1人で搬送・設置しない ラックの搬送・設置は2人以上で行ってください。 ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。 特に高さのあるラック(44Uラックなど)はスタビライザーなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。 必ず2人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。
 	荷重が集中してしまうような設置はしない ラック、および取り付けた装置の重量が一点に集中しないようスタビライザーを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。 ラックが倒れてけがをするおそれがあります。
 	1人で部品の取り付けをしない／ラック用ドアのヒンジピンの状態を確認する ラック用のドアやレールなどの部品は2人以上で取り付けてください。 また、ドアの取り付け時には上下のヒンジピンが確実に差し込まれていることを確認してください。 部品を落として破損させるばかりではなく、けがをするおそれがあります。
 	ラックが不安定な状態で本機をラックから引き出さない ラックから本機を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態(スタビライザーの設置や耐震工事など)で引き出してください。 ラックが倒れてけがをするおそれがあります。
 	複数台の装置をラックから引き出した状態にしない 複数台の装置をラックから引き出すとラックが倒れてけがをするおそれがあります。 装置は一度に1台ずつ引き出してください。
 	電源の定格を超える配線をしない 火傷や火災、本機の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。 なお、電源設備の設置や配線に関しては、電源工事を行った業者や管轄の電力会社にお問い合わせください。

電源・電源コードに関する注意事項

 警告	
	ぬれた手で電源プラグを持たない ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。 感電するおそれがあります。
	アース線をガス管につながらない アース線は絶対にガス管につながらないでください。 ガス爆発の原因になります。
 注意	
	指定以外のコンセントに差し込まない 指定された電圧で、アース付のコンセントをお使いください。 指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。 また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。 本製品の電源仕様に合わせていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。 クラス0 I のアース線付きACコードセットを使用するときは、接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。 接地接続を外すときは、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
	たこ足配線にしない コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。
	電源プラグを中途半端に差し込まない 電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。 中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。 また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。
	指定以外の電源コードを使わない 弊社で指定された電源コード以外のコードを使わないでください。 電源コードに定格以上の電流が流されると、火災の原因となるおそれがあります。 また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。 ・コード部分を引っ張らない。 ・電源コードを折り曲げない。 ・電源コードをねじらない。 ・電源コードを踏まない。 ・電源コードを束ねたまま使わない。 ・電源コードをステーブラーなどで固定しない。 ・電源コードをはさまない。 ・電源コードに薬品類をかけない。 ・電源コードのうえにものを載せない。 ・電源コードを改造・加工・修復しない。 ・損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り換えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)
	添付の電源コードをほかの製品や用途に使用しない 添付の電源コードは本製品に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。 決してほかの製品や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。
	電源ケーブルを持って引き抜かない ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。 ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。

設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項

 注意	
	1人で持ち上げない 本機のシステム全体の質量は最大13.6kg(構成によっては異なる)あります。 1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。 本機は2人以上で底面をしっかりと持って運んでください。
	フロントベゼルに手をかけて持ち上げない 本機の持ち運びは底面をしっかりと持ってください。 フロントベゼルに手をかけて持ち上げないでください。 フロントベゼルが外れ、装置が破損するばかりでなく、落下してけがをするおそれがあります。
	環境条件を満たさない場所に設置・保管しない 本製品を次に示すような場所や本書「1.9 本機の設置について」で指定している環境条件を満たさない場所に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。 ・ほこりの多い場所。 ・給湯器のそばなど湿気の多い場所。 ・直射日光が当たる場所。 ・不安定な場所。 ・屋外など環境が安定しない場所*
	腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない 腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。 また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。 本機が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。 もしご使用の環境で上記の疑いがあるときは、販売店または保守サービス会社にご相談ください。
	カバーを外したまま取り付けない 本機のカバー類を取り外した状態で設置、保管をしないでください。 装置内部の冷却効果を低下させ、誤動作の原因となるばかりでなく、ほこりが入って火災や感電の原因となることがあります。
	指を挟まない ラックへの取り付け・取り外しの際にレールなどで指を挟んだり、切ったりしないよう十分注意してください。
	ラックから引き出した状態にある装置に荷重をかけない ラックから引き出された状態にある装置のうえから荷重をかけないでください。 フレームが曲がり、ラックへ搭載できなくなります。 また、装置が落下し、けがをするおそれがあります。
	電源コードを接続したままインターフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない 本機内蔵オプションやインターフェースケーブルの取り付け/取り外しは本機の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。 たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したまま本機内の部品やケーブル、コネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

* 外気には粉塵や火山灰、塩分、設置環境基準を超過する湿度(水分)等を含んでいる可能性があります。
 外気と接する環境で使用する場合は装置の設置環境を満たさない可能性があります。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

 警告	
	自分で分解・修理・改造はしない ユーザーズガイドに記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本機が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。
	光ディスクドライブの内部をのぞかない 光ディスクドライブはレーザーを使用しています。 電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。 万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります(レーザー光は目に見えません)。
	リチウムバッテリーやニッケル水素バッテリー、リチウムイオンバッテリーを取り外さない 本機内部にはリチウムバッテリーやニッケル水素バッテリーもしくは、リチウムイオンバッテリーが取り付けられています(オプションデバイスの中にはリチウムバッテリーやニッケル水素バッテリーもしくは、リチウムイオンバッテリーを搭載したものもあります)。 バッテリーを取り外さないでください。 バッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。 また、バッテリーの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してください。
	電源プラグを差し込んだまま取り扱わない お手入れや本機内蔵用オプションの取り付け/取り外し、本機内ケーブルの取り付け/取り外しは、本機の電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま本機内の部品に触ると感電するおそれがあります。 また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。 ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。
	消毒液が付着した手指で取り扱わない 本体装置の操作やオプション製品の取り付け/取り外しは、消毒液が手指に付着した状態で行わないでください。消毒液が本製品に付着することにより腐食・故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。
	装置前面や内側に埃が積もった状態で運用しない 定期的に清掃してください。装置前面や内側に埃が積もった状態で運用を続けると、火災の原因となるおそれがあります。装置内部の清掃が必要な場合は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
	防塵フィルタを交換する オプションの防塵ベゼルに装着の防塵フィルタの推奨使用期間は6か月、設計上の最大使用可能期間は1年です。(使用環境により前後します) 定期的に防塵フィルタを交換してください。 設計上の最大使用期間を超えて使用されますと、蓄積したほこりによる発火や、温度の上昇による故障のおそれがあります。

 注意	
	高温注意 本機の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクドライブなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。
	中途半端に取り付けない 電源ケーブルやインターフェースケーブル、ボードは確実に取り付けてください。 中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。
	感電注意 本機の冷却ファン、ハードディスクドライブ、および電源ユニット(2台搭載時のみ)はホットスワップに対応しています。通電中に部品の交換をする際は、内部の部品の端子部分などに触れて感電しないよう十分注意してください。

運用中の注意事項

 注意	
 	雷が鳴ったら触らない 雷が鳴りだしたら、ケーブル類を含めて本機に触れないでください。 また、機器の接続や取り外しも行わないでください。 落雷による感電のおそれがあります。
  	ペットを近づけない 本機にペットなどの生きものを近づけないでください。 排泄物や体毛が本機内部に入って火災や感電の原因となります。
 	装置のうえにものを載せない 本機がラックから外れてけがや周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。
 	光ディスクドライブのトレイを引き出したまま放置しない 引き出したトレイの間からほこりが入り誤動作を起こすおそれがあります。 また、トレイにぶつかり、けがをするおそれがあります。
 	動作中に装置をラックから引き出さない 本機が動作しているときにラックから引き出したり、ラックから取り外したりしないでください。 装置が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。
 	巻き込み注意 本機の動作中は背面にある冷却ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。 手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。
  	カバーを外したまま運用しない 本機のカバー類を取り外した状態で運用しないでください。装置内部の冷却効果を低下させ、誤動作の原因となるばかりでなく、ほこりが入って火災や感電の原因となることがあります。 動作中は背面にある冷却ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。 手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。

1.4 警告ラベル

危険性のある部品やその周辺には警告ラベルがあります(警告ラベルは印刷されているか、貼り付けられています)。これは、本製品を取り扱う際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、塗りつぶしたり、汚したりしないでください)。もし、このラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れている、印刷されていないなどのときは販売店まで連絡してください。

1.5 製品の譲渡と廃棄

本機または本機に添付されているものを第三者に譲渡(または売却)するとき、または廃棄するときは、次の注意事項を守ってください。

本機について

第三者へ譲渡するときは、添付されている説明書一式を一緒にお渡しください。

ハードディスクドライブ(HDD)/ソリッドステートドライブ(SSD)内の大切なデータを完全に消去していますか？OS上からは見えなくなってもハードディスクドライブ(HDD)/ソリッドステートドライブ(SSD)上に残っていることがあります。第三者へのデータ漏洩を防止するために、市販のツールや保守サービス(有償)を利用して、お客様の責任において消去してください。

添付のソフトウェアについて

添付のソフトウェアを第三者に譲渡するときは、次の注意事項を守ってください。

- ・ 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は、それらの複製物を持たないでください
- ・ 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たしてください。
- ・ 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、アンインストールしてから譲渡してください。

消耗品・本機の廃棄について

本機、ハードディスクドライブ、オプションボード、バッテリーなどの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。なお、添付の電源コードにつきましても、ほかの製品への誤用を防ぐため、本機と一緒に廃棄してください。

本機に搭載されているバッテリー(電池)の廃棄(および交換)については、お買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。

ハードディスクドライブ(HDD)/ソリッドステートドライブ(SSD)内の大切なデータを完全に消去していますか？OS上からは見えなくなってもハードディスクドライブ(HDD)/ソリッドステートドライブ(SSD)上に残っていることがあります。第三者へのデータ漏洩を防止するために、市販のツールや保守サービス(有償)を利用して、お客様の責任において消去してください。

1.6 航空・海上輸送に関する注意

本機と一部のオプションは、リチウム金属電池またはリチウムイオン電池を使っています。リチウム電池の輸送は、航空・海上輸送規制が適用されます。本機またはオプションを航空機、船舶などで輸送するときは、お買い求めの販売店または保守サービス会社へお問い合わせください。

1.7 取り扱い上のご注意

本製品を正しく動作させるため、次の注意事項を守ってください。これらの注意を無視した取り扱いをすると誤動作や故障の原因になります。

- ・ 電波による影響を避けるため、本機の近くでは携帯電話やPHSの電源をOFFしてください。
 - ・ 本書「1.9 本機の設置について」を参照し、適切な場所へ本機を設置してください。
 - ・ プラグアンドプレイに対応していない周辺機器のケーブル接続/取り外しは、本機の電源がOFFになっていることを確認し、電源コードをコンセントから外した後に行ってください。
 - ・ 電源を入れるときは、100Vまたは200Vのコンセントへ電源コードを接続してください。
 - ・ 本機の電源コードをコンセントに接続した後は、STATUSランプ(グリーンおよびアンバー点灯)が消灯するまでは電源をONしないでください。
 - ・ 電源OFFやDISK/光ディスクを取り出す場合はDISK/光ディスクアクセスランプが消灯していることを確認してください。
 - ・ 電源コードをコンセントから抜いた後、再び接続するときは30秒以上経過してから接続してください。
 - ・ 電源をOFFにした後、再びONするときは30秒以上経過してからONしてください。無停電装置(UPS)に接続している場合も、30秒以上経過してからONになるようにスケジュールを設定してください。
 - ・ 本機を移動させるときは、電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。
 - ・ 定期的に清掃してください(清掃は「メンテナンスガイド」の「1章(2. 日常の保守)」で説明しています)。ほこりの多い場所で運用を続けると、火災の原因となる恐れがあり定期的に清掃してください(清掃は「メンテナンスガイド」の「1章(2. 日常の保守)」で説明しています)。ほこりの多い場所で運用を続けると、火災の原因となる恐れがあります。状況に応じて防塵ベゼルを使うことをお勧めします。
 - ・ 落雷などが原因で瞬間的に電圧が低下することがありますので、UPSなどを使うことをお勧めします。
 - ・ 次の条件に当てはまる場合は、運用の前にシステム時計の確認・調整をしてください。
 - 輸送後
 - 長期に保管した後
 - 動作を保証する環境(温度：10℃～35℃・湿度：8%～90%)から外れた状態で休止状態にした後
 - ・ システム時計は毎月1回程度の割合で確認してください。また、高精度な時刻を要求するシステムの場合は、タイムサーバー(NTPサーバー)などを利用することをお勧めします。
 - ・ 長期に保管する場合は、保管環境条件(温度：-30℃～60℃、湿度：5%～95%、ただし、結露しないこと)を守って保管してください。
 - ・ 電源ON後、POST終了までは、電源OFF、リセット、または電源コードを抜かないでください。
 - ・ 本機、内蔵型のオプション機器、バックアップ装置にセットするメディア(テープカートリッジ)などは、寒い場所から暖かい場所に急に持ち込むと結露が発生し、そのまま使用すると誤動作や故障の原因になります。保管した大切なデータや資産を守るためにも、使用環境に十分になじませてからお使いください。
- 参考：冬季(室温と10度以上の差)の結露防止有効時間
本体装置/ディスク装置：約2～3時間、メディア：約1日
- ・ 本製品は、法定耐用年数に合わせて標準保守期間を5年とさせていただいており、安定稼働のために購入後5年以内の機器更新を推奨いたします。
推奨設置環境条件での運用であっても、長期間にわたる使用により、誤動作のほか、感電や発煙、火災等の意図しない安全上の問題が発生する可能性があります。
 - ・ オプションは弊社の純正品をお使いになることをお勧めします。取り付けや接続ができて、弊社が動作を確認していない機器については、正常に動作しないばかりか、本機が故障することがあります。これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。

保守サービスについて

本製品は専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。正しい状態で使い続けるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約することをお勧めします。

1.8 静電気対策

本機内部の部品は、静電気に弱い電子部品で構成されています。取り付け/取り外しの際は、静電気による製品の故障を防止するために以下の注意事項を守ってください。

- ・ 静電気対策用リストストラップや静電気防止手袋などの着用

リストストラップを手首に巻き付け、アース線を接地してから作業してください。リストストラップがないときは、部品を触る前に接地された筐体の塗装されていない金属表面に触れて身体に蓄積された静電気を放電してください。また、作業中も定期的に金属表面に触れて静電気を放電するようにしてください。

- ・ 作業場所の確認

- 静電気防止処理が施された床、またはコンクリートのうえで作業してください。
- カーペットなど静電気の発生しやすい場所で作業するときは、静電気防止処理をしたうえで作業してください。

- ・ 作業台の仕様

- 静電気防止マットのうえに本機を置き、そのうえで作業してください。

- ・ 着衣

- ウールや化学繊維でできた服を身につけて作業しないでください。
- 静電気防止靴を履いて作業してください。
- 取り付け前に貴金属(指輪や腕輪、時計など)を外してください。

- ・ 部品の取り扱い

- 部品は、本機に組み込みまでは静電気防止用の袋に入れておいてください。
- 各部品の縁の部分を持ち、端子や実装部品に触れないでください。
- 部品を保管、運搬するときは、静電気防止用の袋などに入れてください。

- ・ ケーブルの取り扱い

- LANケーブル等も床面との摩擦によって静電気が帯電することがあります。帯電した状態で接続すると機器を破壊することがあります。
接続する前に、除電キットを使用して除電することを推奨します。

下記の静電気除電キットについては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご相談ください。

品名：LANケーブル除電治具

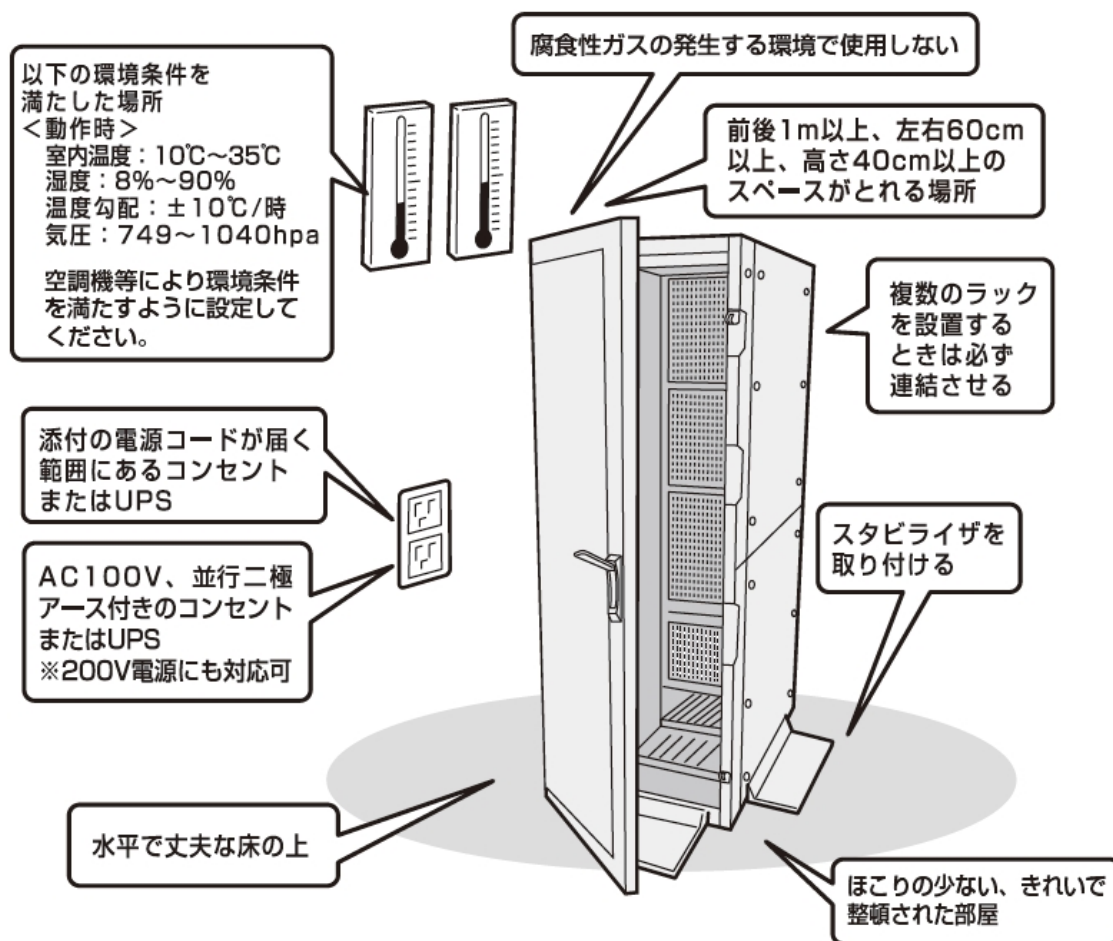
型名：SG001 (東京下田工業(株)製)

- ・ オプションの取り付け/取り外しについて

- ホットスワップ(活線挿抜)対象製品を除き、危険および故障を防ぐため、作業前に本機の電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- オプション製品の取り付け/取り外しは、静電気による製品の故障を防止するため、静電気対策用リストストラップなどの装着により静電気を除去してください。
また、リストストラップを使用する場合は、接地された箇所にはアース線を接続して使用してください。

1.9 本機の設置について

本機の設置にふさわしい場所(環境条件)は次のとおりです。



設置・保管に関する注意事項

 注意	
	環境条件を満たさない場所に設置・保管しない 本製品を次に示すような場所や本製品に添付の「安全にご利用いただくために」の「1.9 本機の設置について」で指定している環境条件を満たさない場所に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。 ・ほこりの多い場所 ・給湯器のそばなど湿気の多い場所 ・直射日光が当たる場所 ・不安定な場所 ・屋外など環境が安定しない場所*
	腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない 腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。 また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。 本機が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。 もしご使用の環境で上記の疑いがあるときは、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

* 外気には粉塵や火山灰、塩分、設置環境基準を超過する湿度(水分)等を含んでいる可能性があります。外気と接する環境で使用する場合は装置の設置環境を満たさない可能性があります。

次の条件に当てはまるような場所には、設置しないでください。これらの場所にラックを設置したり、ラックに本機を搭載したりすると、誤動作の原因となります。

- 本機をラックから完全に引き出さないような狭い場所。
- ラックや搭載する装置の総重量に耐えられない場所。
- スタビライザーが設置できない場所や耐震工事ができない場所。
- 床におうとつや傾斜がある場所。
- 温度変化の激しい場所。(暖房機、エアコン、冷蔵庫などの近く)
- 強い振動の発生する場所。
- 腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する場所。(※)
また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている場所。
- 薬品類の近くや薬品類がかかるおそれのある場所。
- 帯電防止加工が施されていないじゅうたんを敷いた場所。
- 物の落下が考えられる場所。
- 強い磁界を発生させるもの(テレビ、ラジオ、放送/通信用アンテナ、送電線、電磁クレーンなど)の近く。
(やむを得ない場合は、保守サービス会社に連絡してシールド工事などを行ってください)
- 本機の電源コードを他の接地線(特に大電力を消費する装置など)と共有しているコンセントに接続しなければならない場所。
- 電源ノイズ(商用電源をリレーなどでON/OFFする場合の接点スパークなど)を発生する装置の近くに設置するときは電源配線の分離やノイズフィルターの取り付けなどを保守サービス会社に連絡して行ってください。

(※) 腐食性ガスは自動車から放出される排気ガスや、温泉・火山地帯において噴出するガス、市街地のよどんだ川底から発生するガスなどに含まれます。

出典：「JEITA IT-1004B 産業用情報処理・制御機器設置環境基準」

第2章

技術的な法規制

<本装置の利用目的について>

本製品は、高速処理が可能であるため、高性能コンピュータの平和的利用に関する日本政府の指導対象になっております。

ご使用に際しましては、下記の点につきご注意ください。よろしくお願いいたします。

1. 本製品は不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
2. パスワード等により適切なアクセス管理をお願いいたします。
3. 大量破壊兵器およびミサイルの開発、ならびに製造等に関わる不正なアクセスが行われるおそれがある場合には、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。
4. 不正使用が発覚した場合には、速やかに弊社相談窓口までご連絡ください。

弊社相談窓口 ファーストコンタクトセンター
電話番号 0120-5800-72

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI — A

高調波適合品

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2
に適合しています。

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本産業規格「電磁両立性—第3-2部：限度値—高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

回線への接続について

本体を公衆回線や専用線に接続する場合は、本体に直接接続せず、技術基準に適合し認定されたボードまたはモデム等の通信端末機器を介して使用してください。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置(UPS)等を使用されることをお勧めします。

電気用品安全法について

この装置は、電気用品安全法を遵守しています。

レーザ安全基準について

この装置にオプションで搭載される光学ドライブは、レーザに関する安全基準(JIS C 6802、IEC 60825-1)クラス1に適合しています。

日本国外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

Express5800/R110m-1
安全にご利用いただくために

2026年 1月

NEC Corporation
